



令和6年度 栃木県養護教育研究会 第2回委員会

日時：令和6年7月4日（木）13：00～

会場：栃木県立宇都宮工業高等学校

1 あいさつ

栃木県養護教育研究会顧問 渡邊 恵美子 先生

春季研修会並びに総会は、多くの出席者の中で無事に開催できました。ありがとうございました。
新聞等で様々な事件や事故に関する記事を目にすることが多い中、那須雪崩事故の判決の記事を読み、衝撃を受けた。

改めて、養護教諭という立場での危機管理について考えていただきたい。

児童生徒の健康・安全管理上で必要だと思う意見は、ためらわずに管理職等に進言すべきである。そのために、法的根拠を調べたり、県・市・町教育委員会等に問い合わせたり、研修会等に参加したりして、新しく、正確な情報を得て、的確に校内の教職員に伝えることが必要である。

学校行事を開催するにあたって、「例年通り」は通じない世の中になっている。目の前の児童生徒の命を大切にするために、養護教諭として改善が必要だと思うことはしっかり伝え、児童生徒が安全で楽しく学校生活を送れるように意識を高めていただきたい。

2 あいさつ及び講話

栃木県教育委員会事務局 健康体育課 指導主事 金野 智絵 先生

(1) 脊柱側弯症について

- ・「検査機器を用いた脊柱の検査の準備の手引き」の作成について（文部科学省）
- ・「脊柱側弯症の機器検査に関するアンケート調査」について（日本医師会）
⇒文部科学省からの文書は、4月に各校に通知済み。
⇒日本医師会からのアンケート依頼に関しては、検査機器を用いて脊柱側弯症の検査を実施している自治体のみが対象。
※市・町の教育委員会がアンケートに回答している。今後、医師会等から結果についての情報提供があった際は、各校に報告する。

(2) アレルギーについて（令和5年度 栃木県学校保健実態調査より）

- ・県内の小中高特の児童生徒のエピペン所有者は、毎年約50～80人ずつ増加し、令和5年度は初めて1000人を超えた。（平成24年の調査126人）
※複数のアレルギー因子をもっている児童生徒や運動誘発性アナフィラキシー等、複雑化している。また、各校から報告されているヒヤリハット事例でも、アレルギーに関するものが複数ある。

【各校から報告されたヒヤリハットの事例】

- ①食物アレルギーを有する児童生徒を全教職員で把握していなかったため、補助に入った教員が、給食のおかわりを、食物アレルギーを有する児童生徒に配ってしまった。
- ②卵アレルギーがあるが、普段は食べているからと、自宅から持参した弁当に入ったゆで卵を食べて、その日はかゆみが生じた。
- ③保健室のそば殻の枕でアレルギー症状が出た。
- ④アレルギー症状が出たため、抗アレルギー薬を服用しようとしたが、本人が間違えて違う薬を持ってきてしまい、抗アレルギー薬を服用できなかった

※これらの事例が、昨年度報告されている。

- ・アレルギー疾患を有する児童生徒が増えている現状を踏まえ、校内アレルギー疾患対応委員会の開催をお願いしたい。

<参考資料>

○栃木県「学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル」(平成 28 年 2 月: 栃木県教育委員会) 7 ページ (4) アレルギー疾患対応委員会の設置とメンバーについて

- ・アレルギー疾患対応委員会は、保護者から提出された学校生活管理指導表や面談で得られた情報を基にして作成された「個々の取組プラン(案)」や「緊急時の対応」の検討をする。
- ・既存の会議の見直しや改編なども考えていくことが必要である。

[対応委員会出席者(例)]

校長 教頭(副校長) 教務主任 学年主任 関係学級担任 保健主事 養護教諭
給食主任 栄養教諭(学校栄養職員) 部活動顧問 等

- ・昨年度、アレルギー疾患対応委員会を開催、もしくは他の委員会においてアレルギー疾患を議題にした学校は、小・中学校で約 7 割、高校で約 3 割、特別支援学校で約 9 割となっている。
- ・令和 5 年度 児童生徒健康管理委員会^{※1} において、アレルギー専門の医師から、アレルギー疾患を有する児童生徒の学校は、アレルギー疾患対応委員会を開催して、全教職員で情報共有することの大切さについて助言をいただいた。

※1 県の各郡市の医師会、行政、校長、養護教諭の代表、栄養教諭の代表、検診機関等が一堂に会した、県内の小学校、中学校、高校、特別支援学校の心臓疾患、腎臓疾患、アレルギー疾患について話し合う委員会

(3) 心臓検診・腎臓検診の精密検査対象者への通知について

- ・県からの医療機関宛ての通知の中に、県教育委員会の電話番号が記載されている。これは、医療機関が県に問い合わせをするために記載している電話番号である。
- 今年度は、保護者から、心臓検診や腎臓検診に関して、直接県教育委員会への問い合わせが多かった。
- ⇒学校から保護者に対して精密検査の通知をする際、不明点等の問い合わせは学校にするように保護者に周知していただくことを、来年度以降も継続してお願いしたい。

3 各係からの連絡

- | | |
|------------|---|
| ☆常任委員会 | ・春季研修会及び総会の反省、秋季研修会、レベルアップ研修会について |
| ☆編集委員会 | ・しろたえ 51 号の編集について |
| ☆調査研究委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・「働き方改革における ICT の効果的な活用」に関する実践事例の校正について ・全養連「令和 6 年度 養護教諭の職務に関する調査」について
(WEB 調査: 7/10~7/30) ※全会員回答すること。 ※実施要項、回答マニュアル、調査内容のデータ、調査に関する質問等について
(栃養研ホームページにアップ済み) |
| ☆レベルアップ研修会 | ・開催について、申込状況について |
| ☆かがやき | <ul style="list-style-type: none"> ・第 61 号の発行について(栃養研ホームページにアップ済み) ・第 62 号の発行計画について |



- ☆ホームページ
 - ・パスワード一覧の取扱について（担当者が代わる場合は引き継ぐ）
 - ・各地区活動の様子等更新のお願いについて
- ☆会計（一般）
 - ・会費納入について
- ☆会計（慶弔）
 - ・慶弔規定について（総会資料 11 ページ参照）
- ☆書記
 - ・各地区会員名簿について
 - ・9月の委員会開催通知について
- ☆事務局
 - 【全養連関係】
 - 令和6年6月15日（土） 第26回 学校保健連絡協議会・総会の報告
 - ①文部科学省 健康教育調査官 川畑 千種 先生
 - 「学校保健の課題とこれからの養護教諭の役割」
 - ②横浜薬科大学教授 小出 彰宏 先生
 - 「オーバードーズの現状と薬物乱用防止教育の重要性」
 - 全国養護教諭連絡協議会 第26回研修会 WEB 開催
 - 配信期間：令和6年8月9日（金）～9月20日（金）
 - 令和6年度 養護教諭の職務に関する調査について（依頼）
 - 【研修会関係について】
 - 令和6年8月3日（土）・4日（日）
 - 第52回 全国性教育研究大会 宇都宮大学 峰キャンパス
 - 令和6年11月7日（木）・8日（金） 全国学校保健・安全研究大会
 - 開催地：宮崎市

4 次回委員会

日時： 令和6年9月12日（木） 13:00～
会場： 栃木県立宇都宮工業高等学校

